

## 川をよごさないために

柳川市立天和小学校 三年 石田 智彬

ぼくが、ようち園に行っていたころに家の前の川で、ごがん工事がありました。古くなった木をとり、ぞいで新しいコンクリートで強くして水がいをふせぐための工事だそうです。工事がはじまる前に川の水が全部なくなっていたので見に行ったら、どろまみれの小がたつり船や自転車などのゴミが道路においてあったのを見ておどろきました。そのおいてあったゴミを見て魚や、かめたちはこんなにゴミがすててあった川に住んでいたことを知って魚たちがかわいそうに思いました。

そこで、自分が川をよごさないためにできることを考えてみました。

まず、一つ目は道路にゴミのポイすてはぜつたいにしないこと。二つ目は外ででたゴミは、かならず家に持ち帰ること。三つ目は給食の牛にゆうやジュースなどをそのままながし台にながさないことの三つが自分が川をよごさないためにできることかなと思いました。

つぎに母が川をよごさないためにしていることは何か聞いてみました。母が川をよごさないためにしていることは、ぎょうぎなどのあぶらがついた食きは、先にキッチンペーパーでふきとってからあらうそうです。みんな少しずつ自分のできることからはじめたらいいと思います。

やな川は、川下りができる有名なかん光地の一つです。「きれいな川だね。」とみんなに言ってもらえるように、やな川の人たち全員がきょう力し合って川をよごさない運動をつづけていけたらいいなと思いました。